

北部ケニア干ばつレジリエンス通信（2012年11月号）

今月のトピック: ① Launching Ceremonyが開催されました。② 拡大District Steering Committee会議が開催されました。③自然資源管理に係る各種現地調査(Test Pit、測量、他)が実施されています。



Launching Ceremony(マルサビット・タウン)

11月21日、北部開発省副大臣、JICAケニア事務所所長、日本大使館書記官、ECHOのDRRオフィサー、4人のDistrict Commissionerまたは代理、9パイロットコミュニティからの代表者など、総勢150名が参加し、本プロジェクトパイロット事業のLaunching Ceremonyが開催されました。ナイロビからの来賓客は、当日昼頃にナイロビからのチャーター機で到着。セレモニーに参加した後、同日夕刻に現地を発ってナイロビへ戻るといった忙しい行程でご参加頂きました。



Water Pan施設の調査 (マルサビット北郡Hurri Hills)

Hurri Hillでは、既存Water Panを改修・up-gradeさせる形とします。現地で測量調査、現場確認作業などを行いました。



Joint District Steering Committee会議

先のLaunching Ceremonyに引き続き、関係する4Districtにおける各省officerや政府代表者が参加し、拡大DSG会議が開催され、活発な議論が展開されました（11月22日）。



Water Pan建設予定地(マルサビット中央郡Gar-Qarsa)

乾燥地におけるWater Panでは、深さが湛水期間を左右する最も重要な要素となります。建設予定地にTest Pitを掘って可能掘削深や地盤の構成を調査しました。その結果、Gar-Qarsaでは設計深さ迄の掘削が可能であることを確認しました。



地下水連続データ観測 (マルサビット県およびトゥルカナ県)

マルサビット県およびトゥルカナ県の計10カ所に先月設置した、地下水連続データ用のデータカ-を回収し、地下水データの収集を行いました。